

平成 27 年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 27 年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成 27 年 12 月 16 日(水)～17 日(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者 56 名、委託関係者 38 名ほか、計 108 名の参集を得て、除草剤 19 薬剤(108 点)、生育調節剤 10 薬剤(24 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AC-263 液 イマザモックスアンモニウム塩:0.85% [BASFジャパン]	サヤインゲン	サヤインゲン出芽直前, 雑草発生始期(北海道:2年目)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生広葉雑草] ・サヤインゲン出芽直前, 雑草発生始期 ・全面茎葉兼土壌処理 ・300mL<100L>/10a 継) ・サヤインゲン出芽直前, 雑草発生始期, 薬量200~250mL/10aでの効果, 薬害の確認 ・サヤインゲン出芽期, 雑草発生始期~揃期での効果, 薬害の確認
	サヤインゲン	サヤインゲン出芽期, 雑草発生揃期(北海道:2年目)		
	サヤインゲン	倍量薬害(出芽直前)		
	サヤインゲン	倍量薬害(出芽期)		
2. ANK-553(改) 乳 ペンディメタリン:30.0% [BASFジャパン]	ショウガ	ショウガの植付後, 雑草発生前(全域:2年目)	継	継) ・効果, 薬害の確認
3. BJL-861 微粒 ダズメット:96.5% (表示値変更) [アグロカネショウ]	ニラ	薬量拡大(60kg/10a)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草全般] ・播種または定植21日以前 ・土壌混和処理 ・20~30kg/10a 注) 深さ15~25cm(土壌と十分混和後ビニル被覆, 7~14日後被覆を除去して少なくとも2回以上の耕起によるガス抜き 継) ・薬量60kg/10a処理での効果, 薬害の確認
4. NH-007 フロアブル ピラフルフェンエチル:0.16% グリホサートイソプロピルアミン塩:30.0% [日本農薬]	ネギ	畦間処理(2年目)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・耕起または定植前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・ネギ生育期, 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・400~600mL<100L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する
				継) ・定植直前処理での薬害について年次変動の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
5. NK-1101 水和 S-メトクロール:24.8% プロメトリン:26.6% [日本化薬]	ヤマノイモ	萌芽後畦間処理	実・継 (従来ど おり)	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・植付後萌芽前, 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・225~300g<100L>/10a 継) ・畦間処理での効果, 薬害の確認(萌芽後処理)
6. NP-55 乳 セトキシジム:20% [日本曹達]	セロリ	イネ科雑草3~6葉期(2年目)	実	実) [春夏作, 露地; 一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)] ・セロリ生育期, イネ科雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a
7. SL-122 顆粒水和 フルアジホップ-P:7% リニュロン:30% [石原産業 *石原バイオサイエンス]	ニンジン	ニンジン播種後出芽前, 雑草発 生前 (北海道:2年目)	実・継 (従来ど おり)	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・播種後出芽前, 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~250g<100L>/10a [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・生育期(1~2葉期), 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・200~250g<100L>/10a [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・生育期(3~5葉期), 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・170~250g<100L>/10a 注) ・ニンジン生育期の処理では褐変, 葉枯れを生 じる場合がある 継) ・ニンジン出芽揃期処理での効果の確認 ・生育期処理での薬害の確認 ・播種後出芽前処理での年次変動の確認(北海道)
8. アラクロール 乳 アラクロール:43% [日産化学工業]	タマネギ	タマネギ定植後, 雑草発生前	—	<作用性>
9. リニュロン 水和 リニュロン:50.0% [TKI社]	アスパラガス	養生中のアスパラガス生育期 (立茎期)の畦間株間散布(北海 道)	継	継) ・効果, 薬害の確認 (畦間処理, 萌芽始期処理)
	アスパラガス	アスパラガス萌芽始期		
	アスパラガス	養生中のアスパラガス生育期 (立茎期)の畦間株間散布(東北 以南)		
	ネギ	ネギの全面散布	実	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・畦間土壌散布 ・100~150g<70~150L>/10a [春夏作, 露地; 一年生広葉雑草] ・定植活着後, 雑草発生前揃期 ・全面茎葉兼土壌処理 ・75~150g<100L>/10a 注) 砂質土壌では葉枯れ, 生育抑制が生じる場合 がある。

B. 平成26年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AH-01 液 グルホシネートPナトリウム塩:11.5% [*Meiji Seikaファルマ 北興化学工業]	アスパラガス	多年生雑草, スギナへの草種拡大 (収穫打ち切り後)	実・継 (従来どおり)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・萌芽前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300~500mL<100~150L>/10a [春夏作; 一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ] ・収穫打ち切り後, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000mL<100~150L>/10a 継) ・収穫打ち切り後全面処理での多年生イネ科雑草に対する効果の確認

C. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピルアミン塩:41% [TAC普及会]	ツツジ ・サツキ	一年生雑草	実	実) [(ツツジ・サツキ); 一年生雑草] ・生育期, 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・250~500mL<50~100L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する
2. AKD-7164 水和 シアナジン:50% [アグロカネショウ]	花卉類	ゼニゴケ, ジャゴケ	—	<作用性>
3. ANK-553 細粒 ペンディメタリン:2.0% [BASFジャパン]	キク	キク(移植):定植後, 雑草発生前 (全域:3年目)	実・継	実) [春夏作; 一年生雑草(キク科, ツユクサを除く)] ・定植後, 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・4~6kg/10a 継) ・直挿し栽培での薬害の確認
4. ANK-553(改) 乳 ペンディメタリン:30.0% [BASFジャパン]	キク	キクの定植後への処理時期 拡大 (全域:3年目)	実・継 (従来どおり)	実) [春夏作; 一年生雑草(キク科を除く)] ・定植前, 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400mL<70~150L>/10a 継) ・定植後, 雑草発生前での効果, 薬害の確認
5. GG-152 微粒 グリホサートイソプロピルアミン塩:3% フルミオキサジン:0.1% [保土谷アグロテック]	アベリア ツバキ・サザンカ	一年生雑草 一年生雑草	実・継	実) [(ツツジ・サツキ, ツバキ・サザンカ); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・10~20kg/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する 継) ・アベリアでの効果, 薬害の確認

C. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
6. HW-953 粒 シアナジン:1.0% DCBN:1.5% DCMU:3.0% [保土谷アグロテック]	アベリア	一年生雑草, 多年生広葉雑草, スギナ	実・継	実) [(ツツジ・サツキ, アベリア); 一年生雑草, 多年生広葉雑草] ・生育期, 雑草生育期(草丈15cm以下) ・土壌処理 ・10~20kg/10a 注) ・樹幹, 枝葉にかからないように散布する 継) ・スギナに対する効果の確認 ・連年処理した場合の薬害の確認
7. NC-628 液 グリホサートカリウム 塩:0.96% [日産化学工業]	ツツジ ・サツキ	一年生雑草, 多年生雑草	継	継) ・効果, 薬害の確認
	ツツジ ・サツキ	スギナ		
	ツツジ ・サツキ	倍量薬害の確認		
8. NC-636 液 グリホサートカリウム 塩:0.96% ペラルゴン酸:2% [日産化学工業]	ツツジ ・サツキ	一年生雑草, 多年生雑草	継	継) ・効果, 薬害の確認
	ツツジ ・サツキ	スギナ		
	ツツジ ・サツキ	倍量薬害の確認		
9. SCC-010 液 グルホシネート:18.5% [ラスジャパン]	ユリ	畦間処理	継	継) ・効果, 薬害の確認
	キク	畦間処理		
	ツツジ ・サツキ	一年生雑草		
	ツバキ ・サザンカ	一年生雑草		
	トルコギキョウ	一年生雑草		
	ヒマワリ	一年生雑草		
	ベニカナメモチ	一年生雑草		
	リンドウ	一年生雑草		
	ユリ	倍量薬害の確認		
	キク	倍量薬害の確認		
	ツツジ ・サツキ	倍量薬害の確認		
	ツバキ ・サザンカ	倍量薬害の確認		
	トルコギキョウ	倍量薬害の確認		
	ヒマワリ	倍量薬害の確認		
	ベニカナメモチ	倍量薬害の確認		
リンドウ	倍量薬害の確認			

D. 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AF-3 錠剤 1-メチルシクロプロペン: 0.63% [ローム・アンド・ハース ジャパン]	メロン	収穫後くん蒸処理による果実の 貯蔵性向上効果の確認	継	継) ・効果, 葉害の確認
2. KT-30S 液 ホルクロルフェニユロン: 0.1% [協和発酵バイオ]	トマト	放射状裂果軽減: 白斑症状の発 生要因の特定	実・継	実) [放射状裂果軽減] ・幼果期(果実径3~4cm) ・10~20ppm<5mL/果房> ・果房散布 注) 高温期の処理では白斑症状が見られる場合がある。 継) ・葉量5ppmでの効果, 葉害の確認
	トマト	放射状裂果軽減: 幼果期の薬剤 処理により収穫前に発生する果 皮障害を軽減する		
3. S-327D 液 ウニコナゾールP:0.025% [住友化学]	トマト	育苗期の伸長抑制の検討	—	<作用性>
4. SYJ-243 フロアブル パクロブトラゾール :21.5% [シンジェンタジャパン]	ミニトマト	セル育苗苗期の伸長抑制効果の 検討(適用性:3年目)	実・継	実) [育苗期の伸長抑制] ・播種後覆土前 ・15万倍(1.5ppm)~4万5千倍(5.1ppm) <0.2mL/播種穴> ・播種穴滴下処理 継) ・品種による効果, 葉害の確認 ・15万倍(1.5ppm)での効果の年次変動の確認

E. 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AF-3 くん蒸成型 1-メチルシクロプロペン: 0.63% [ローム・アンド・ハース ジャパン]	ラン	くん蒸処理による花の日持ち性 向上効果	—	<作用性>
2. DAZ-85 顆粒水溶 ダミノジッド:85% [ファイン アグロケミカル ズ リミテッド]	シクラメン	花梗, 葉柄の伸長抑制	実	実) [花梗, 葉柄の伸長抑制] ・1回目 花芽前期 2~3回目 花梗再伸長時 ・茎葉処理 ・200~300倍<7mL/4号鉢> 1~3回処理 注) 3回処理では開花が遅れる場合がある。
3. NPK-063 水和 フルルプリミドール:50% [日本農薬]	トキワマン サク	新梢伸長抑制による剪定軽減効 果	実・継 (従来ど おり)	実) [ベニカナメモチ, カイズカイブキ, ヒバ; 新梢伸長抑制による剪定軽減] ・萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 ・土壌処理 ・800~2000g<100~300L>/10a 継) ・トキワマンサク, マテバシイでの効果, 葉害の 確認
	マテバシイ	新梢伸長抑制による剪定軽減効 果		

F.平成26年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. ジベレリン 液 ジベレリン:0.5% [協和発酵バイオ]	リンドウ	株の生育促進	実	実) [生育促進] ・収穫終了時 ・株元散布 ・100～200ppm<5～10mL/株>
2. ジベレリン 液 ジベレリン:0.5% [岩手県農業研究センター]	リンドウ	株の生育促進		

G.平成26年度 秋冬作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. エテホン 液 エテホン:10% [福島県農業総合センター]	ユキヤナギ	落葉開花促進	実・継	実) [落葉開花促進] ・根切り後～促成前 ・株全体散布 ・1000倍<1L/株> 継) ・500倍処理での効果、葉害の確認